

消防かわら版

にい は ま
2024 vol. 2



令和6年火災概況（上半期）

火災種別等別件数

| 原因 | 令和6年 (1月～6月) | 令和5年 (1月～12月) |
|---------|-----------------|------------------|
| 出火件数 | 18 | 29 |
| 建物 | 10 | 16 |
| 林野 | 0 | 1 |
| 車両 | 2 | 2 |
| 船舶 | 0 | 0 |
| その他 | 6 | 10 |
| 損害額(千円) | 調査中 | 48,443 |
| 死者 | 0 | 1 |
| 負傷者 | 2 | 6 |

令和6年上半期(1月～6月)の火災件数は18件で、前年度比5件増となっています。火災原因は、**火入れ**が多くなっています。

火災原因別件数

| 原因 | 令和6年 (1月～6月) | 令和5年 (1月～12月) |
|------------|-----------------|------------------|
| たばこ(推定含む) | 2 | 2 |
| 火入れ | 4 | 4 |
| こたつ | 1 | 0 |
| 配線機具 | 0 | 3 |
| 取灰 | 0 | 1 |
| 電気装置 | 1 | 1 |
| 電気機器 | 2 | 2 |
| 電灯・電話等の配線 | 0 | 1 |
| 放火(疑い含む) | 1 | 1 |
| 炉 | 1 | 0 |
| 排気管 | 1 | 0 |
| その他 | 3 | 4 |
| 不明・調査中 | 2 | 10 |
| 合計 | 18 | 29 |

火入れ(野焼き等)による火災が多く発生しています

野焼き行為中に想定以上に火が燃え広がる管理不足(ちょっとした不注意)から火災に発展するケースが多くなっています。火災を防止するために次の内容に留意して火災予防に努めましょう。

火災の防止をするために

- ・燃えやすい物の近くで火入れをしない。
- ・風の強い日に火入れをしない。
- ・消火準備を行う。
- ・完全に火が消えるまでその場を離れない。

注意事項

野焼き行為は基本的に禁止されています。農業を営んでおり、やむを得ない野焼き行為の場合は特例となっています。実施の際には消防署への連絡と近隣にも十分配慮をして実施してください。

【お問い合わせ】

新居浜市消防本部 予防課 65-1342(直通)

IH クッキングヒーターに潜む天ぷら油火災

近年、生活環境の進展に伴いオール電化住宅が増加し、調理器具もガスから電気へと変革しています。そんな中、家庭の台所に急速に普及しているIHクッキングヒーターは、ガス漏れの心配や不完全燃焼による一酸化中毒、直接火を使わないことで安全性が高そうに見えますが、誤った使い方により天ぷら油火災が発生する危険があります。

⚠️ 火災防止のために

- ◆揚げ物などの調理中はその場を離れない。
- ◆鍋底が反るなど変形した鍋を使用すると温度センサーが正しく働かない。
- ◆IHクッキングヒーター専用の天ぷら鍋を使用する。
- ◆天ぷらモードなどの温度調整機能を使用する。
- ◆メーカー指定の油量未満では使用しない。
- ◆市販の汚れ防止シート(電磁調理器カバー)は、温度センサーが正しく働かず発火する恐れがあります。